

2008年3月17日

受益者の皆様へ

安田投信投資顧問株式会社

3月14日の当社ファンドの基準価額変動について

3月14日、「チャイナ・リアル・ウォッチ」、「チャイナ・ディスカバリー・ファンド(愛称：神龍)」の基準価額は、世界的な株価下落の影響を受けて香港株式市場も軟調に推移したこと、また急速な円高も進行したことから、前営業日から5%弱の値下がりとなりました。その状況のご報告と、本ファンドの運用委託先である国泰君安アセット(アジア)の見解をご紹介します。

1. ファンド名および基準価額(3月14日現在)

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	騰落率(%)
チャイナ・リアル・ウォッチ	14,533	-771	-5.04%
チャイナ・ディスカバリー・ファンド (愛称：神龍)	10,404	-550	-5.02%

2. 主要株価指数の騰落率

<現地株価は3月12日と13日の比較。円ベース騰落率は東京時間TTM[△]-ス>

関連主要株価指数	騰落率(%) (香港ドル [△] -ス)	騰落率(%) (円 [△] -ス)
香港ハンセン指数	-4.79%	-5.37%
ハンセン中国企業株指数(H株)	-6.08%	-6.66%
ハンセン中国レッドチップ [△] 指数	-5.85%	-6.42%

3. 香港株式市場下落要因ならびに今後の見通し

13日の香港株式市場は、前日の米国株式市場や当日の中国本土市場の下落を受けて地合いが悪化し、寄り付きから大幅安で始まり、当日は上記主要株価指数の騰落率の通りの急落となりました。主に香港内外の以下の原因に起因しております。

米連邦準備制度理事会(FRB)は11日、新たな信用市場の混乱緩和を目指し、市場へ

*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補充書面を含む。)をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。

の資金供給措置を発表しましたが、市場参加者は十分な措置ではないと見ていると思われ信用収縮懸念は払拭できませんでした。また米住宅ローン担保証券のカーライル・キャピタルは、今月12日の時点で、過去7営業日のうちに求められた証拠金積増しの支払いに応じられず、結果的に債務不履行に陥りサブ・プライム問題の更なる損失への投資家の懸念を深めました。

また、中国の新しく公表された経済データは、成長性に関して懸念を引き起こしました。これは主に中国の旧正月の季節的理由によるものではありませんが、2月の輸出総額の前年比は+6.5%にまで減速し、投資家に嫌気されました。一方、2月の生産者物価指数は同+6.6%、消費者物価指数は同+8.7%と急増し、インフレ圧力懸念を起こさせて、金融引締めに対する警戒感が高まりました。

当ファンドの運用委託先の国泰君安アセット（アジア）からは、「今後の展望は、米国の経済リセッションが香港株式市場にマイナスの影響を及ぼし、当面不安定な動きが継続すると見えています。しかし、1月～2月の小売売上高が前年同期比+20.2%、2月の固定資産投資が同+24.3%増加等と、輸出の減速にもかかわらず、中国の消費と投資は高い伸びで増加しているということも事実です。中国の全体的な経済的成長は今なお健全で、市場のバリエーションは魅力度を増しています。長期的な香港株式市場の動向は現在懸念する状況にはないと見えています。」とのコメントを得ております。

以上

* 当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。* 当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む。）をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。* 当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。